



1 豊前街道の歴史的町並み(山鹿下町周辺)  
2 八千代座外観 3 八千代座内観

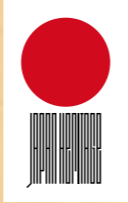


シリーズ日本遺産 ⑮

# 米作り、二千年にわたる大地の記憶

く 菊池川流域「今昔『水稻』物語」

問い合わせ先  
社会教育課  
文化係  
☎0968-34-3047



菊池川 日本遺産 検索

## 米作りによる豊かな文化③(山鹿湯町)

菊池川流域では、豊かな米をもとにさまざまな文化が開きました。山鹿湯町の歴史的な町並みや、芝居小屋八千代座もその一つです。

山鹿湯町(豊前街道沿いの歴史的町並み)

山鹿湯町は現在の山鹿市の中心部を指します。町の成り立ちには古く、江戸時代よりあるか前、鎌倉時代の終わりがくにはある程度の町の形ができたこととされています。そして江戸時代には豊前街道が整備され、菊池川と街道が交差する場所となりました。川岸には「俵ころがし」という米の積み出し所が設けられ、山鹿周辺で作られた米が菊池川の水運で玉名の高瀬に出荷されました。山鹿湯町は人と物が行き交い、とても繁栄しました。

現在も江戸、明治、大正の建物が残り、情緒のある町並みを見せてくれます。また、豊前街道沿いには造り酒屋、麴屋、米せんべい屋など、米に関係するお店が軒を連ね、地元商店街で「米米惣門ツアー」と名付けたガイドツアーが行われています。

八千代座

八千代座は山鹿市役所近くの豊前街道沿いにあります。明治時代の米問屋や造り酒屋などの経営者(旦那衆)が出資して、町のさらなる繁栄を目指して造られました。

明治43年の建設以来、歌舞伎を始め浪花節などさまざまな催しが行われ、住民に親しまれてきました。しかし、テレビの普及などで次第に公演も少なくなり、昭和40年代後

半には閉鎖してしまっています。その後、建物は雨漏りなどが進み、廃屋状態となりました。解体される危機を迎えましたが、それを救ったのが市民の保存運動でした。老人会による「瓦一枚運動」という募金活動などが進められ、八千代座は文化財として保存されることが決定。昭和63年に国の重要文化財に指定され、再び息を吹き返したのです。

平成8年から13年には「平成の大修理」が行われ、八千代座が最も繁栄した大正12年の華やかな姿に復元されました。現在も坂東玉三郎さんをはじめ、著名な歌舞伎役者などの公演のほか、市民のコンサートや発表会など、多くの人に利用されています。また、公演が無いときは内部を公開し、多くの見学者から好評を得ています。

山鹿湯町は現在、少子高齢化や人口減少の加速化、農林業の担い手不足など、さまざまな課題を抱えています。一方では、大河ドラマ「いだてん」の放送決定や、菊池川「食と農」の日本遺産認定など、またとない大きなチャンスも近づいています。

このように、重要な節目の時に、副町長として、まちづくりのお手伝いをさせていただくことは、身に余る光栄であると同

時に、重責を担うことに対し、身の引き締まる思いです。もとより微力ではありますが、高巣町長を補佐し、議会や町民の皆さまと対話を重ねながら、町長が掲げられている「住みたまち和水平」の実現に向け、誠心誠意取り組み所存です。

町民の皆さまにおかれましては、今後ともご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

# 松尾 栄喜氏 副町長に就任

平成30年9月14日に町議会の同意を得て松尾栄喜氏が副町長に就任されました。



## 就任のあいさつ

このたび、9月14日付をもちまして副町長に就任いたしました。和水平は、現在、少子高齢化や人口減少の加速化、農林業の担い手不足など、さまざまな課題を抱えています。一方では、大河ドラマ「いだてん」の放送決定や、菊池川「食と農」の日本遺産認定など、またとない大きなチャンスも近づいています。このように、重要な節目の時に、副町長として、まちづくりのお手伝いをさせていただくことは、身に余る光栄であると同

**プロフィール**

**松尾 栄喜(まつお えいき)**  
■昭和31年3月12日生(62) 板橋在住

■経歴

昭和55年3月	鹿児島大学農学部	卒業
昭和55年4月	熊本県	採用
平成23年4月	熊本県農林水産部	農業技術課長
平成26年4月	熊本県立農業大学校長	
平成27年4月	熊本県農業研究センター	所長
平成28年3月	熊本県	退職
平成28年4月	(一社)熊本県農業会議	事務局長
平成30年3月	(一社)熊本県農業会議	退職
平成30年9月		副町長に就任